



## 銀杏並木

木枯らしが身にしむころになると、銀杏の葉も黄変し、銀杏並木の歩道は黄金色の落葉を敷きつめ、秋の深まりを目や肌で感ずることが出来る季節になります。

銀杏の木は、高さ30mにも達し、老樹巨木として、しばしば天然記念物に指定されるなど、古くから親しまれてきた木であり、扇状の葉の形から、銀杏を冠した様々な名称があります。

例えば、女性の髪のかき上げとして、「銀杏返」<sup>ぎんぎょうかえ</sup>、「銀杏崩」<sup>ぎんぎょうかたまり</sup>などがあります。また、「銀杏頭」<sup>ぎんぎょうかみ</sup>は江戸時代の男性の髷(まげ)の一種、「銀杏切」<sup>ぎんぎょうきり</sup>は野菜の切り方の一、「銀杏歯」<sup>ぎんぎょうは</sup>は末の広がった下駄の歯、など。

今度の休日には、食用になる種の「ぎんなん」拾いなどをして、秋を体で満喫してみたいかたがでしょうか。

## 11月のおもな行事

- 1～2日 工業統計実務担当者会議(愛知県)
- 8日 漁業センサス事務打合せ(埼玉県)
- 10日 漁業センサス審査集計ブロック会議(静岡県)
- 10日 小売物価統計調査地方別事務打合せ会議(神奈川県)
- 11日 第30回茨城県統計大会(水戸市)
- 14～15日 統計調査の実施に関する地方別統計主管課長会議(大洗町)
- 15～16日 消費動向調査ブロック会議(長野県)
- 17～18日 労働力調査地方別打合せ会(栃木県)
- 24・25・29・30日 工業統計調査市町村説明会(土浦市、銚田町、下館市、水戸市)
- 29～30日 第8次漁業センサス電算処理に関する自主ブロック会議(大洗町)